

# まちづくり横浜の総合化と田村明－研究会 第1回研究会のごあんない

日時：2013年12月18日（水）午後6時30分より

会場：開港記念会館 1号会議室（中区日本大通35番地）

研究会の発会にあたり、3つのお話と懇談の場を企画いたしました。師走のあわただしい時期ですが、お気軽にご参加ください。

## 1. 「まちづくり横浜の総合化と田村明－研究会」の発会とこれから

昭和40年代の横浜、田村明たちが推進していた「横浜のまちづくりの成果と仕組み」を学び直し再評価して、次の世代に伝えようということで研究会をスタートしました。そして横浜のまちづくりがどのように展開したのかを「市民、自治体、総合化」の三つの主題から明らかにしようと考えています。研究会立ち上げの経緯とこれからの活動についてもお話しし、共感しあう仲間を増やしたいと望んでいます。・・・進行：五島哲男

## 2. 「都心部の高速道路地下化に至る組織的決定の構造と田村明」

・・・発表01：田口俊夫  
飛鳥田が田村明に期待した企画調整室の初仕事は高速道路地下化であった。昭和43年2月都市計画決定された高架方式に、地元商店街が反対し、早くも5月には地下化が検討され、10月には見通しをつけ、地下鉄や公園との調整を経て、翌44年3月正式決定をしている。これについては後年、高速道路部門との確執が噂されてきた。今回その実像に迫りたいと、調査研究報告・都市計画審議会資料や新聞・市会議事録等から当時の状況をつぶさに見て、企画調整室と道路局それぞれの地下化に関わった担当者たちに取材した。多くの主体者がそれぞれの論理をもって係わり、最終的に「横浜市のあるべき案」が出来上がった情景が見えてきた。これまでベールに包まれていた、その調整過程を明らかにしたい。

## 3. 「田村の家族たち」

・・・発表02：田村千尋  
田村明の両親は、キリスト教信者としての生涯を過ごした。家庭はその二人の「祈り」の中にあっただと思う。特に、母親の影響は「特徴のある自分づくり」に、父親からの影響は「弱者からの視線」にあっただと思当たる。生きていくための推進力、判断力、決断力、は、どういふところから来たのか。結局、「祈る」という行為ではなかつただろうか。兄弟のそれぞれが思いもよらぬ所で、解決の道が与えられた。どこまで客観的なお話しができるか分からないが、田村明の弟、共通の要素を受け継いだ者としてお話しをしてみたい。

## 4. 今回のテーマについての懇談

今回の発表テーマについて、参加者皆さままでの懇談や情報交換ができればと考えています。閉会後に、別途懇談の場所と時間を持ちたいとも、希望しています。準備会一同。

We have decided to establish a dedicated study group of people who share a passion for the city planning history of Yokohama and the work of Akira Tamura. From the mid-1960s until the late 1970s the local government of Yokohama was a pioneer of independent and integrated city planning approaches. Those were initiated by the then mayor, Ichio Asukata, and directed by his visionary planning advisor Akira Tamura. Although the leaders of the city and its surrounding environment have changed substantially, the rationales and visions that may be gleaned from studying Yokohama's city planning history will be useful for future generations. Young people will need courageous attitudes and a sound knowledge base to approach the challenges they face in an unpredictable future. Additional aims of this work is that clarifying the expanding evolution of idea in Akira Tamura had been leached after retired the local government of Yokohama. It is also the matters and idea, he had been engaged in, could be helpful to the cities planning in expanding countries. For this purpose, we will continue research activities and maintain our website as a source of knowledge and expertise to people in Japan and around the world.

田村明 MR. AKIRA TAMURA



「田村明を偲ぶ会」資料（森日出夫写真・町口忠デザイン）から

研究会準備幹事

五島哲男 田口俊夫

寺田芳朗 田村千尋

2013年12月18日発会

連絡先（田口）

phone : 090-6030-4550

Email : taggame@jcom.home.ne.jp